

令和6年度 博物館実習受入に係る課題の提出について

上記のことについては、茨城県近代美術館博物館実習生受入要項に基づき、当館での実習を希望する者は、下記のとおり課題を提出願います。

記

1 課題のテーマ

- (1) 学芸員資格取得を目指す理由及び茨城県近代美術館において、博物館実習を志望する動機や理由を述べなさい。
- (2) 過去1年以内に見た日本国内の美術館で開催された展覧会の中から一つ選び、展示を含むその館の活動について、博物館学の観点(美術館の管理運営、美術作品の保存・研究、美術館における展示の在り方等)から評価すべき点と課題点を論じ、後者については、可能ならば解決への建設的なアイデアを述べなさい。

2 枚数

上記1(1)のテーマは、原稿用紙1枚、1(2)のテーマは、原稿用紙2枚半～3枚以内とする。

3 書式

400字詰め原稿用紙(A4判)に横書きとし、黒色のペンで自書すること(鉛筆・シャープペンシル不可)。

4 提出期間

令和6年2月1日(木)から2月29日(木)までとする。

(必着。郵送または持参)

ただし、やむを得ない事情で上記期間以外に提出する者は、事前に申し出ること。

5 提出先

〒310-0851

水戸市千波町東久保666-1

茨城県近代美術館 美術課 博物館実習担当 宛

6 実習希望者の情報記載

別添の様式に、氏名、大学学部学科名、学年(令和6年4月1日現在)、大学住所、大学電話番号、大学側担当者(事務官、教官等で実習窓口として常時連絡が可能な者)、現住所、電話番号(携帯電話可)、メールアドレス、帰省先住所、帰省先電話番号を明記し、レポートの表紙とすること。

7 結果通知

実習受入の可否は、令和6年3月22日(金)までに大学の担当者宛に連絡する。その上で、大学から実習生受入に係る依頼書を受け、4月30日(火)までに文書で回答する。

8 その他

- ・提出を受けたレポート等の返却はしない。
- ・選考の際には、レポートの内容を勘案した上で、美術史あるいはそれに類する専攻の学生を優先することがある。

問い合わせ先
茨城県近代美術館
Tel 029-243-5111
美術課：堀江 俊夫・荒木 扶佐子